



嵯峨の福祉

第128号

嵯峨自治会連合会
嵯峨社会福祉協議会

温かい「つながり」に育まれる子どもたち

京都市立嵯峨小学校

校長 加地 知子



嵯峨学区の皆様には、日頃より嵯峨小学校の教育にご理解ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

4月、嵯峨小学校に着任し、子どもたちの素直でまっすぐなまなざしやあいさつに温かい気持ちになりました。嵯峨学区の皆様に温かく優しく育んでいただいていることを、子どもたちから感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、歴史ある嵯峨小学校とともに、名所旧跡や伝統産業・文化などを長年大切に守り受け継いできた皆様の思いを強く感じています。

本校では、「心豊かにたくましく、自ら学びに向かう子」を育むために様々な取組をしています。

本来なら、ホームカミングデーでの敬老交流会や生活科の昔あそびの学習などで、高齢者の方と1、2年生が触れ合う場を設けていただき、地域の方との交流を通じて思いやりの心を学ばせていただくところですが、昨年度来の新型コロナウイルス感染拡大により、実施できない取組も増えました。そんな中でも子どもたちは、社会科や総合的な学習の時間に地域のことを調べ、地域のすばらしさに気付く学習を工夫して進めています。地域の文化や歴史、安全を守る活動に携わる方々の思いや努力を知り、子どもたちは多くの方に支えられることに感謝の気持ちを抱くとともに、地域に誇りをもっています。

子どもたちは、嵯峨学区の「温かいつながり」の中で、大切にされる安心感や喜びを味わい、人を思いやる心を育んでいると感じます。自分たちの住む地域を知り、人とふれあい、つながりながら学ぶことを今後も大切にしていきたいと思います。そして、子どもたちが嵯峨の伝統を受け継ぎ、よりよい地域の創り手となることを願っています。

これからも地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指し、教職員一同一丸となって取り組んでまいります。今後とも、ご理解ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



健康すこやか学級

いつも楽しいたくろう会

たくろう会 再開しました！

7月24日（土）に嵯峨小学校でたくろう会の陶芸教室が開かれました。

講師の和泉良法先生のご指導のもと参加者16名は花瓶を作りました。

感染対策のため作業台は前の人とも横の人ともアクリル板で仕切られています。

はじめに手回しろくろの上に底を丸く平らに作り、その上に紐状にした粘土を一段ずつ積み上げていき好きななかたちを作っていくきます。中には経験のある方もおられ楽しく作業を進めておられました。

不慣れな方には先生が助けてくださるのでどの方も順調に作ることができました。

作品はしばらく乾燥してから800度で素焼きし、うわぐすりを塗ってから、さらに1,250度で本焼きという過程を経て一ヶ月後に完成します。出来上がりは15%ほど小さくなるようです。

参加者は「どんな風に仕上がるかワクワクしています」と言っておられました。

陶芸教室に続いて皆さんに楽しんで頂ける企画を実施していくのでどうぞご期待ください。



題字左のカット画像は、吉川祥子さんにお願いしております。

「コロナウイルス」の手話は？

社会福祉法人 全国手話研修センター 所長 小出 新一

皆さんはじめまして。私は、全国手話研修センター所長の小出です。

「研修センターってどこにあるの？」

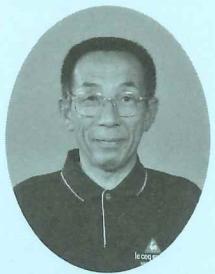
「JR嵯峨嵐山駅南口のコミュニティ嵯峨野に事務局があります。」

「どんな仕事をしているの？」

「耳の聞こえない人達が会話で使う手話の研究、新しい手話の創作・普及、手話のテキストの発行など手話に係る総合的な仕事をしています。」

では耳の聞こえる人が使う音声のことばと手話はどこが違うのでしょうか。2年前から世界的に大流行しているコロナ感染症。感染拡大とともにテレビ、新聞、インターネット等には「クラスター」「パンデミック」「フィジカルディスタンス」「緊急事態宣言」等など関連用語が毎日登場します。2年前までは聞いたことも見たこともない言葉です。耳の聞こえる人は新しい言葉の意味がわからなくても、とにかくアイウエオという音で伝えることができます。しかし手話は基本的に意味をあらわす言葉ですから新しい言葉の意味を踏まえて新しい手話を創作しなければなりません。研修センターは、社会情勢の変化に伴って新しく使われる言葉を中心に年間200語を超える新しい手話を創作しています。

では、「コロナウイルス」という手話はどう表すのでしょうか。右のイラストにありますように左全手指でCを作り胸の前において左手の親指側で右手の全指を開いて半回転させる動作で表します。実はこの手話は6年前に天文学用語として「コロナ」の形を模して創作したものですが、ごく限られた関係者にしか使われない人気のない手話でした。ところが感染症の拡大とともに一躍日の目を見ることになり、日本の手話関係者だけでなく今や外国でも使われる超有名手話になったのです。もちろん手話にも指でアイウエオの音を表す指文字という表現方法もありますが、音声と比べて強弱、高低、音色を表せないという限界があり意味を表す手話が中心となっています。興味のある方は研修センターのHPにアクセスしてください。コロナ関連の新しい手話50語が動画で見ることができます。手話に関心、興味のある方はいつでも遊びに来てください。お待ちしています。



① 左手「C」形の手前に右手掌を置き、手首を軸に左から右へ動かし

② 右手2指の円の動きを左手5指の輪の上から覗き込む



動画でご覧いただけます。

すこやかカフェ しゃか

7月20日(火)ひさしぶりに「カフェしゃか」が西井頭町会議所で開かれました。日よけのテントも張られ、お好みの飲み物を飲みながら、マスクをつけての会話がはずんでいました。



花ごよみ

りんどう
竜胆

リンドウ科リンドウ属

リンドウの名前の由来は諸説あります。中国でこの草の根が胆汁のように非常に苦いことから、最上級を表す竜の字を冠



して「竜胆」と名付けられ、その音読みの「りゅうたん」が転訛したともいわれています。

古来より人々の身近にあった植物で、薬草としても親しまれてきました。

一度植え付ければしっかりと根付いて、毎年秋に花を咲かせる息の長い植物です。

わが町内 紹介

新企画「わが町内紹介」4回目は、鳥居本、裏柳、中院です。

1回に3町内ずつ、自治会長に自印、世帯数、わが町内のPR等、書いて頂いています。

記事を読まれて新たな発見もあるかと思います。皆さんも一度下記の町内を巡られてみては如何でしょうか。なお、順番は「くじ引き」により決定しております。

歴史と住みやすさの町～鳥居本

自治会長 大谷 光道

鳥居本の世帯数は316。古くは「化野」と呼ばれ、三か所に及んだ京の人々の埋葬の地の一つでした。愛宕参りの入口である一之鳥居から下方に広がる町並みは、愛宕神社の鳥居前町（門前町）として発展してきたもので、「鳥居本」の名もこれに由来します。

春には愛宕神社のお祭りの鉾、神輿、夏には遅くとも江戸期には始まった鳥居形の送り火、これら伝統行事を護り継承することに、町内として精力を傾けてきました。

また、鶯、梟、ホトトギスが鳴き、猿、鹿、猪、狸等々、多くの動物と出会える自然豊かな美しい町です。そして、より住みやすい環境をめざして、地道なゴミ対策や、町内の交通安全を高めるなど、日夜取り組んでいます。

何百年も住まわれている方は珍しくなく、越して来て20年にも満たない私共など、とても新参者の域は出られません。特別に親切な方々ばかりで、誠に住みやすいところです。



鳥居形（平時）



新丸太町通りの終点にあたる裏柳～裏柳

自治会長 竹田 明彦

裏柳自治会は、嵯峨小学校の正門から徒歩約1分にある、戸数50戸の小規模な自治会です。

裏柳自治会にあるお地蔵様は、新丸太町通の終点にあり、道路は丁度行き止まりになっています。

その前に小さな空き地があり、地蔵盆にはテントを張り、大人から子供までワイワイと夜遅

くまでテントの中で昔話や近況等を話し合い、時には蚊に刺されたり、汗を流したりしながら親睦を深めています。また、区民運動会の足洗もこのお地蔵様の前でしています。道路に御座をひき、机を並べ、家から電気を引くなど裏柳ならではの工夫をし、運動会の反省会を兼ねて皆で団結を図っています。

この場所は裏柳の人々にとって、とても大切な場所となっています。

私は、このようなアットホームな温かい裏柳自治会で、今回会長を務めさせてもらうことになり大変嬉しく思っております。



ここにテントを張る



今も昔も我が町内～中院

自治会長 尚永 雅幸

中院は嵯峨清涼寺から西に伸びる「愛宕道」の両側一帯に広がる、約330世帯の町内です。

小倉百人一首ゆかりの地で、鎌倉時代に僧蓮生の中院山荘があったことに由来します。町内には慈眼堂というお堂があり、ご本尊には京都市指定有形文化財の「中院觀音さま」をお祀りしています。また、嵯峨祭では麒麟鉾で知られ、毎年5月中旬の夕刻になるととカンカンと鉾差しの練習音が響き渡ります。

私は生まれも育ちも中院町で、縁あって本年度の自治会長を務めさせていただきました。ウン十年前の子供の頃と比べると、沢は埋められ、田畠だったところに家が立ち並び、随分と様変わりしましたが、住んでいる人達ののんびりとした温度感は今も昔も変わっていません。

散歩の際には是非、中院にお立ち寄りください。特に初夏の夕方がおすすめです。



おかげさまで30周年 トロッコ列車の使命は お客様に感動を提供することです！

嵯峨野観光鉄道株式会社 代表取締役社長 井上 敬章

嵯峨学区の皆様こんにちは。嵯峨野観光鉄道です。当社は、全国でも数少ない観光に特化した会社で今年開業30周年を迎えるました。

嵯峨野トロッコ列車の路線の歴史をさかのぼると、明治時代に軍港である舞鶴港と京都駅を結ぶ物資輸送路線として、敷設が計画され1899年に京都鉄道として、嵯峨（現嵯峨嵐山）～園部間が開通しました。しかし1907年政府に買収され、国鉄として旧山陰本線の一部に組み込まれました。その後、1987年国鉄の分割民営化によりJRが発足、1989年複線電化に伴い嵯峨（現嵯峨嵐山）～馬堀間が廃線となりました。旧山陰本線ルートについて京都府や地元住民の皆様より「観光資源として活用してほしい」との声がJRに寄せられたことを受け、JR西日本の子会社として1990年社長を含むわずか9名の「嵯峨野観光鉄道株式会社」を発足しました。

しかし廃線後、線路は放置されていたため、レールは錆び、雑草が生い茂るなど、「本当に列車を走らせられるのか」と社員達は不安を抱えましたが、社員が一丸となって取り組み廃線から約2年後、嵯峨野トロッコ列車を開業することが出来ました。開業当初から予想を上回る多くのお客様にご利用いただき、2013年以降毎年100万人を超えるお客様にご利用いただきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響を大きく受け、当社のご利用状況は激変し、2020年度は年間46万人まで減少しました。苦しい状況の今こそ私たちの使命である「安全に、顧客起点で多くのお客様に感動を提供する」という想いを大切に「チームトロッコ」として、社員が一丸となり、さまざまな取り組みを積極的かつ果敢に進めています。

現在、「楽しい」をコンセプトに30周年を記念して、トロッコ嵯峨駅ではフォトスポットやメッセージボードを設置しています。またこれから季節は、紅葉やライトアップなど、美しい景色をトロッコ列車からお楽しみいただけます。この機会に是非嵯峨野トロッコ列車へお越しください。



嵯峨小児童の作品から



1年 おくの あかり
『ここのれすとらんはおいしいよ』



2年 中嶋 奏太
『ふしぎなたまご』



詳しくはトロッコ列車公式HPをご覧ください

令和3年度 9～12月行事予定表

嵯峨社会福祉協議会事業ほか

月	日	曜	行 事 内 容 な ど	備 考
9	25	土	たくろう会（お楽しみプログラム）	嵯峨小 10：00～
10	1～31 「赤い羽根」共同募金 募金活動月間			京都府共同募金会
	9	土	たくろう会（絵画）	嵯峨小 10：00～
			今年の「嵯峨校児童と高齢者の敬老交流会」は中止です	
11	13	土	たくろう会（お楽しみプログラム）	嵯峨小 10：00～
	27	土	たくろう会（落語、手芸）	嵯峨小 10：00～
12	1～31 令和3年度 右京区社会福祉協議会 賛助会員募集			
	2	木	広報誌「嵯峨の福祉」第129号発行	
	11	土	たくろう会（防犯教室、来年の干支の色紙作り）	嵯峨小 10：00～

◎すこやかカフェしゃか 毎月第3火曜日10時～12時、場所 西井頭町会議所

9/21、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15、3/15

◎カフェくるまみち 每月第1火曜日10時～12時、場所 JR 嵯峨嵐山駅下ル 京都新聞販売所北

10/5、11/2、12/7、1/4、2/1、3/1

【注】以上の予定は諸事情により変更となる場合があります。